

## 算数オンライン塾 6月21日の問題解説

---

(1) 2月から4月まで差が一定であった、ということです。  
2月が100万円、3月が120万円、4月が140万円となれば、20万円ずつ増えますが、3月の増加率は20%ですが、4月の増加率は20%よりは小さくなります。したがって答えは③

(答え) ③

(2) 1月の売り上げが100万円だったとすると2月は120万円、3月は96万円、4月は115.2万円、5月は92.16万円になるので、4月が2月より小さく、5月が2月よりも少ないものを選ぶので④

(答え) ④

(3) 例えば2月が300万円になったとき、①は×になります。②は減っても1月と3月が同じである以上必ず100より小さくなるので○。③は×。④は比較するものが2月は1月ですが、3月は2月になるので、2月の方が必ず比較するものが大きくなるから○。⑤は逆に×。⑥も×です。

(答え) ②、④

(4) ①2022年7月は30か月たっているので、1.05を5回かけると1.27倍になり、それを6回かけると2倍以上になりますから①は○。  
逆に②は×。③同じ倍率で増えていくので2倍と3倍では、3倍は2倍の1.5倍でしかないので短くなります。一方4倍は同じ2倍なのでほぼ等しくなります。

(答え) ①、④

(5) 平均は135万円ですから、それを超えるのは6、7、8、9の4か月しかありません。したがって①は×。②は、7番目がすでに平均を下回っていますから○。③は、合計1620万円で、6月～9月まで700万円ですから、40%を超えていますから○。④は高い方2つは200万と180万。低い方2つは80万と100万円なので、合計すると560万円だから除くと1060万円。

$1060 \div 8 = 132.5$  万円で5番目は130万円だから超えていますので×。

(答え) ②、③